



東京都人権プラザの概要 及び 令和4年度管理運営状況

【資料2】

1 設置根拠

東京都人権プラザ条例（平成13年条例第103号）

2 設置の目的等

人権尊重の理念を普及させることにより、人権意識の高揚及び人権問題の解決を図り、もって都民一人一人の人権が尊重される社会の実現に寄与する「人権啓発の拠点」として、都が平成14年1月に設置

3 施設の概要

- (1) 所在地 東京都港区芝二丁目5番6号 芝256スクエアビル1・2階
- (2) 面積 1階 約768㎡ 2階 約794㎡
- (3) 施設 1階 展示室、セミナールーム、企画展示室、ロビーギャラリー
2階 図書資料室、相談室、事務室

4 指定管理の実施

- (1) 指定管理者 公益財団法人東京都人権啓発センター
- (2) 指定期間 平成30年4月1日～令和10年3月31日（10年間）
- (3) 業務内容 ①管理、運営 ②プラザの建物維持管理
- (4) 委託経費 157,407千円（令和4年度）

5 令和4年度の主な管理状況

- (1) 施設・設備の保守点検 目視による点検、施設設備等の清掃、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策
- (2) 施設の補修・修繕 授乳室の化粧洗面台の破損を修繕

6 令和4年度の主な運営状況

- (1) 年間利用者数

利用者合計	4,815人
・展示室入場者数	4,073人
・図書資料室利用者数	742人
- (2) 展示事業

常設展示・クローズアップの展示の運営
企画展

 - 第1期「人権カルチャーステーション」（5/13～7/29）
メッセージ展「心と体を傷つけられて亡くなった天国の子供たちのメッセージ」展（8/22～9/2）
 - 第2期「飯山由貴『あなたの本当の家を探しに行く』展」（8/30～11/30）
 - 第3期「いっしょに生きる-身体障害者補助犬法成立から20年」（12/19～3/30）
※5月31日（水）まで会期を延長
- (3) 図書資料等の閲覧・貸出

図書資料（蔵書数 16,514冊（4年度末））	貸出冊数	570冊
視聴覚教材（DVD等 896本（4年度末））	貸出本数	81本

- (4) 図書資料室附帯事業（全3回）
 - 第1回 「マンガを通して考える、LGBT・人権・移民」（9/17）
 - 第2回 「のびのび絵本 みんなで楽しむおはなし会」（2/23）
 - 第3回 「『教えて！君の景色』手で見える学習絵本『テルミ』」（3/11）
- (5) 人権問題都民講座（全6回）
 - 第1回「現役ユーチューバーが発信するアイヌ文化と『等身大の自分』～関根摩耶さんと『しとちゃんねる』の挑戦～」（4/16）
 - 第2回「『風の谷のナウシカ』を読む一人権の向こう側」（7/16）
 - 第3回「『eスポーツ』の可能性～ゲームを通じて『誰もが』輝ける社会とは～」（9/23）
 - 第4回「性はグラデーションー性の多様性/LGBTQと子供たちの今」（10/21）
 - 第5回「文学から考える戦争と平和ー現代ロシア語文学の場合」（12/10）
 - 第6回「みんなで楽しむ映画とは。～ユニバーサル上映ってなんだろう～」（2/18）
- (6) 人権啓発指導者養成セミナー（全2回）
 - 第1回「水平社100年をどう教えるか～『異化』と『同化』と『無化』の間で～」（8/16）
 - 第2回「一步先の『ダイバーシティ』の話をしようー人権が導くプラスアルファの経営戦略」（2/2）
- (7) 子供人権教室（全2回）
 - 第1回「オンライン企画『世界の森の人権問題』～ボルネオナッツバターを使ったハンドクリームを作ってオランウータンが住む森を守ろう！～」（8/20）
 - 第2回「『生きる冒険地図』チームと一緒に「ハッピーカード」をつくろう！」（12/3）
- (8) 体験・交流型の新たな事業
 - 発明プロジェクト第2弾：障害のある子供たちの特性を起点に6つのアクティビティを発明し、完成発表イベントを実施
 - 発明プロジェクト第3弾：障害者の働く能力や可能性を社会が掘り起こしていく取組や工夫について、展示企画やイベントを通して紹介
- (9) 人権学習会
 - 団体見学・視察への対応 63団体
- (10) 人権相談

相談件数合計	1,758件
・一般相談件数	1,449件
・法律相談件数	202件（夜間人権ホットライン14件を含む）
・インターネット法律相談件数	27件
・新型コロナウイルス感染症に係る人権問題に関する専門電話相談	80件
※相談方法別件数（法律相談含む）電話	1,685件、Eメール 55件、文書18件